注目出展者 INTERVIEW

株式会社タカノ【も－９６】

他社が断る「極細×長尺」加工。独自技術で実現

今回出展される展示製品の特長と最大の強みを教えてください。

今回出展する製品の目玉は、**医療分野などで求められる「極細・長尺ピン」**です。

最大の強みは、単に**極細**（φ1mm 以下）なだけでなく、**必要な「長さ」を確保できる高精度な加工技術**です。

極小径ピン（段付き）の例

一般的に、極細加工は長さが増すほど難易度が跳ね上がりますが、弊社は長年培った金型部品の技術と設備により、この難題をクリアしています。さらに、鉄よりも加工が難しい**ステンレスなどの難削材でも高い精度を維持して加工が可能**です。装置の小型化に伴い「他社で断られた」「従来の部品では精度が出ない」とお困りの設計開発者様に、解決策をご提示できます。

他社製品と比べた際の優位性や、対応できる技術の幅について教えてください。

技術的な優位性は、**材種変更への対応力と加工精度の高さ**にあります。例えば、一般的な金型用鋼材だけでなく、**より粘りがあり加工しにくい医療用材料でも「極細×長尺」のスペックを実現**できます。

この極細加工技術の精度とノウハウがあるからこそ、0.001mm 単位の精密さが求められるカテーテル製造用治具など、高い信頼性を要する部品を手掛けられています。

また、「極細品ができるなら標準的なサイズは余裕をもってこなせる」という証明にもなり、お客様からの信頼獲得につながっています。難易度の高い一品物の試作や特殊形状にも柔軟に対応可能です。

新たなパートナー企業に期待することと、提供できる価値は何ですか？

弊社が提供できる最大の価値は、**他社で断られるような難易度の高い精密加工を形にする技術力**です。

新製品の試作や装置の小型化において、加工限界による設計の諦めを解消します。

今回出会いたいのは、従来の製造手法に限界を感じ、新しいアイデアや技術革新を追求されているパートナー企業様です。「こんな形状は作れないか」「精度と耐久性を両立させたい」といった初期の構想段階からご相談いただくことで、弊社の加工技術を生かした最適な解決策を共創できます。

技術の限界を突破するパートナーとして、ぜひご協力させてください。